

麻醉科・集中治療室

藤枝市立総合病院 麻醉科

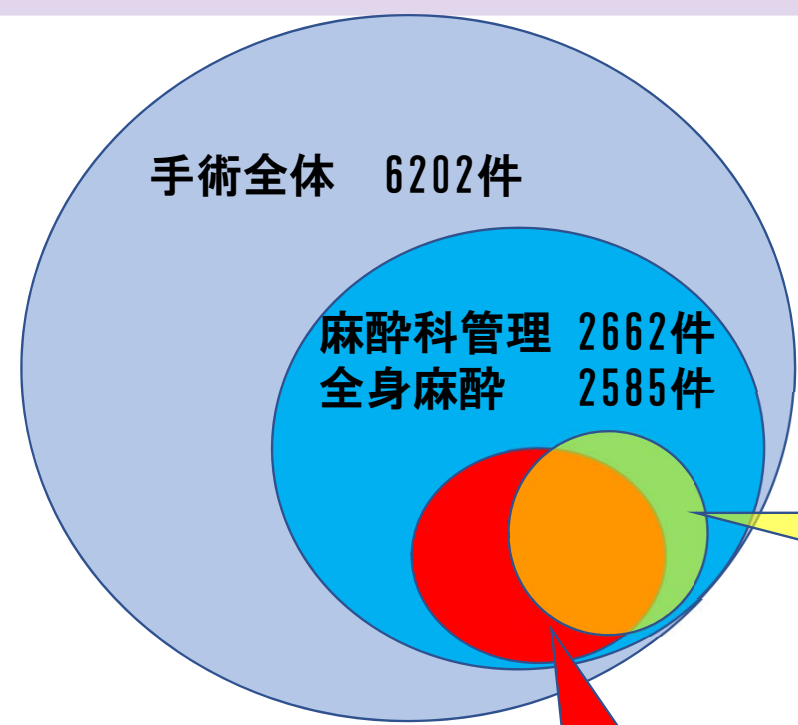
酒井宏明

藤枝市立総合病院 麻醉科・集中治療室

麻酔科医師の紹介

- 酒井宏明、廣岡龍之進
- 非常勤応援医師
 - 浜松医大麻酔科から麻酔科専門医、集中治療専門医多数
 - 順天堂大学静岡病院麻酔科から麻酔科後期研修医
 - そのほか多数麻酔科専門医の応援を受けています
- 看護師特定行為（周術期麻酔管理）3名

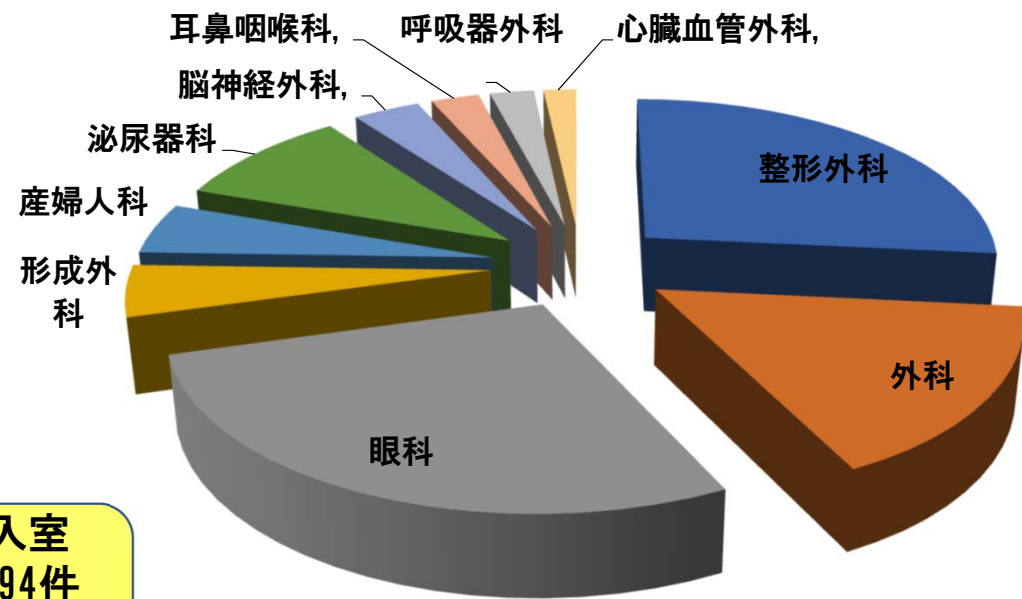
手術室の現況 増設しましたがすでに混んでいます 2024年データ



術後ICU入室
予定手術 394件
緊急手術 204件
およそ20%が入室

緊急手術 711件
麻酔科管理 415件
全身麻酔 390件

科別手術件数
割合



手術麻酔件数の維持（すでに手術室は混んでいます）
麻酔科医の確保、浜松医大、順天堂大学静岡病院との連携
質の高い非常勤麻酔科医の確保
手術室看護師の確保

最近の手術の動向

- 4年前より低侵襲手術室の利用（ロボット支援手術）
→高度ながん医療の提供
- ロボット支援手術
 - 前立腺悪性腫瘍手術、腎部分切除
 - 肺悪性腫瘍手術
 - 婦人科良性疾患（子宮全摘、子宮脱手術など）
- **血管内手術の増加**（血管内治療室で動脈瘤コイルリングなど）
- **内視鏡手術**（早期食道癌内視鏡的切除手術）
- **産婦人科 重症妊産婦の帝王切開の増加**
 - 前置胎盤など大量出血リスクのある帝王切開件数の増加
 - 不妊治療増加との関連性
 - **地域周産期母子医療センター**
- **特に緊急心臓手術（大動脈瘤手術など）への対応能力アップ**



ダビンチ手術光景

安全性をより一層担保する(多職種でカバー)
手術前→手術中→手術後 退院へ

- 2023.04月～
- 周術期特定行為（術中麻酔管理）を許可された看護師の登場
 - 周術期外来、術前手続きの整備（2023.07より開始）
 - 多職種（特定看護師、薬剤師など）の協力をいただき手術前の情報共有推進
 - 術中麻酔管理の協働（2023.08より開始、担当症例の拡大）
 - 常勤麻酔科専門医とともに担当
 - 外科、婦人科、脳外科アンギオ手術、心臓外科など

安全性をより一層担保する(多職種でカバー)

手術前→手術中→手術後 退院へ

一手術にトラブルはつきもの、生じた場合は確実な火消しを一

- 手術医療（手術、麻酔）トラブル

- 副傷病（持病）悪化によるトラブル（重症不整脈発生、低酸素、術後肺炎）
- 薬剤アレルギー
- 手術自体によるトラブル（主として出血）

- 手術のみならず

術前、術中、術後の周術期副傷病管理の重要性が高まってきている

- 呼吸器内科（肺気腫、喘息）
- 循環器内科（未治療高血圧、繰り返す心不全、狭心症、心筋梗塞治療後、心房細動）
- 糖尿病内分泌科（糖尿病、甲状腺疾患）
- 腎臓内科（慢性腎不全、透析患者）
- 脳外科（脳卒中後など）

- 低侵襲手術はトラブルが生じると重大事故になりやすい

- 視野、作業スペースが限られる
- 確認作業も困難度が上がる
- トラブル発見は術後になりやすい

安全性をより一層担保する(多職種でカバー)
手術前→手術中→**手術後**を目指した周術期医療 退院へ

- ・ 集中治療室（ICU）の術後利用
 - ・ **重要臓器専門診療科の協力が迅速に得られる**
 - ・ 総合病院の強み
 - ・ 術後早期からのリハビリ開始

術後	ICU入室	
全体	598件	22%
予定	394件	20%
緊急	204件	49%

- ・ ICUクリティカルケアナース（特定行為看護師）を中心とした
院内急変前対応チーム（見守り隊）の充実化
 - ・ 一般病棟での急変の早期発見、ICUに早期収容。
 - ・ 院内一般病棟で重症化した患者（外科系、内科問わず）。



毎朝の多職種カンファレンス
主治医に加え、麻酔科、循環器内科、脳外科、外科が常連
看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士も参加
セミオープンスタイル